



## PRESS RELEASE

平成25年9月25日

### **未来医療研究人材養成拠点形成事業：(テーマB)リサーチマインドを持った総合診療医の養成(平成25年度文科省事業)に採択**

このたび、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業：(テーマB)リサーチマインドを持った総合診療医の養成」に採択されました。このプログラムには全国から59件の申請があり、15件が採択されております。今回採択された「地域を支え地域を科学する総合診療医の育成」事業は、岡山大学と地域医療機関・自治体が連携し、総合的な診療能力をもち、医学的研究への推進力を備えた、優れた総合診療医を育成する取組です。医学教育の充実と連携によって地域を支え、地域を科学する総合診療医を育てる本事業は、今後益々社会から求められる総合力を持った医師を育てる基盤となるものです。

#### <取り組みの概要>

本事業は、岡山大学と地域医療機関・自治体が連携してリサーチマインドと優れた臨床能力を有した総合診療医\* (General Physician: GP) を育成する取組です。この事業では臨床面と研究面での人材育成にバランスよく取り組みます。臨床面では、「ハートフル GP の育成」をテーマに、高齢化が進み医師不足も深刻な県北の二次医療圏を必修の研修エリアに組み込み、診療所と地域の病院が協働した3年間のGP後期研修プログラムと集中的に学ぶインテンシブコースにより、全人的医療を実践できる若手リーダーを育成します。「総合診療医」は今後基本領域の専門医\*\*となることが決定していますが、本コースはその方向性にも合致・対応するものです。中山間部と都市部の研修を組み合わせ、地域包括・在宅緩和ケア、家庭医療と総合診療、救急等を学び、岡山大学は教育リソースの提供を介して全面的なバックアップを行います。研究面では、「アートフル GP の養成」をテーマに、アカデミック GP 養成コース(博士課程)と MPH コース(修士課程)を設置し、実験ではない医学本来の人(患者)を対象とした観察研究である臨床現場からの臨床研究や質的研究を介して医学的エビデンスを発信する研究者の育成を促進します。これらのコースは、26年度より開始します。教育の充実と連携によって地域を支え、地域を科学する総合診療医を育てる岡山発の本事業は、どのような地域にも応用可能かつ波及効果が期待できるものといえます。

#### <背景とこれまでの課題>

わが国は世界に類を見ない超高齢社会に突入していますが、現在特に高齢化が進んでいる地域は中山間部など医師不足地域でもあります。このような地域には中小規模の病院や診療所など、診療分野が細分化されない医療やコミュニティに密着した医療を提供する医療機関が多く、総合診療医の育成に適した環境でもありますが、このような地域では指導体制が不十分で、そのために若手医師が減るとい



## PRESS RELEASE

循環が存在しています。岡山県においては高齢化率の高い県北部の人口 10 万人あたりの常勤医師数は 148 人であり、県南部 265 人と比べて明らかに低いことが知られています。地域枠の策定は地域の医療を支える医師の育成のための有力な方策ではありますが、医師不足地域に十分な教育体制が存在していなければ真に地域を支える総合的な力を備えた医師の育成は困難です。将来高齢者人口の爆発的増加は都市部で起こるとされ、総合力を有した総合診療医の育成は喫緊の課題であり、そのための有効な教育システムの確立は非常に重要です。一方、医学研究分野では EBM や臨床研究の重要性が叫ばれているにもかかわらず、代表的な臨床医学誌における日本の臨床研究論文数は 2008-2011 年で 25 位（基礎研究論文は 4 位）と立ち遅れており、人を対象とした定量的研究を行い臨床現場のデータからエビデンスを発信できる研究者の育成が極めて重要です。臨床現場自体が研究の場となるためには、EBM を重視した臨床教育と診療の実践と研究を遂行するための研究支援システムの両輪が必要です。総合診療医の育成と臨床研究マインドの醸成は表裏一体であり、臨床研究マインドを有した総合診療医の育成は大学・地域を挙げて取り組むべき最重要課題といえるでしょう。

### <注釈>

- \* 総合診療医：総合的な診療能力を有する医師。身体や臓器の症状・状態のみならず、患者の生活背景も含めて全人的に診療を行い、必要に応じて専門科への橋渡しをするプライマリ・ケアを行う医師。高齢化社会の進行により、慢性的な複数の疾患を抱える患者が増加し、その必要性が求められている。とくに地域医療においては、地域の特性を踏まえて患者を全人的に診る総合診療医の果たす役割は大きい。
  
- \*\* 総合診療の基本領域化：厚生労働省の「専門医の在り方に関する検討会」では、外科・小児科・精神科・内科など 18 領域の既存基本領域に、新たに「総合診療医」が基本領域として追加され、2017 年度を目処に研修が開始されることになった。新たな総合診療医を育成するための教育体制が注目されている。

### <お問い合わせ先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
地域医療人材育成講座 教授  
片岡 仁美  
(電話番号) 086-235-6963